

# We Love

インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合

# Internet People



このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの方の参加をお願いします。

Let's Access!!

## Shouting!

今月の高座



私は自分で草の根BBSを運営している都合上、複数回線を引く必要がありました。そこで2回線分の収容量を持つISDNに切り替えました。回線自体は安定しており問題ありません。私はこの回線を使ってダイヤルアップ接続も行っていますが、プロバイダーは隣町にしかありません。このため「テレホーダイ3600」のお世話になろうとしたが、NTTの回答は「ISDNは対象外」というものでした。NTTのパンフレットによると、ISDNは一般小売店などでファクシミリを導入するのに大変いいと書いてあります。また、

パソコン通信にも「最適」であると唱っています。ところが、おおよそパソコン通信しか使われないだろう「テレホーダイ」を、NTTはISDNは対象外であるというのです。営業窓口と116番に聞くと「ISDNはまだ新しい回線であるため対応できない」という答が返ってきました。私は、「損」をしていると思います。

(Kazunari Terai)



テレホーダイは、今年の8月に一般電話回線用としてスタートしましたが、ISDNでの定額料金サービスも、もちろん考えています。具体的なサービス内容、料金体系など、いま検討段階に入っており、近いうちにお知らせできると思います。ISDNをお使いのインターネットビブルのみなさん、もう少し、お待ちください。

(NTTの広報部より)

通信コストの高さがインターネットの普及を妨げているといわれる一方で、ISDNのパーソナル利用はインターネットによって加速されています。定額料金制の導入やISDN料金の値下げ、そして「OCN構想」など、96年はインフラのドラスティックな変化が待っていると思います。次号の特集では、この辺りをレポートする予定です。お楽しみに。



編集部

# Chatting!

## 声を聞かせて

CD-ROMに収録されていたインターネットフォンを試してみた。サーバーに接続したとたん、外人さんからcallされて英語で話しかけられとまどった(私は英語が話せない!)。黙っていたら、向こうが「タナカサーン」なんて日本語で話してきた。慣れなくて操作もわからず切ってしまうと悪いことをしてしまった。その後、一通り操作もわかり、ロサンゼルス在住の日本語のうまい外人さんと話をした。回線品質が悪く聞き取りにくいこともあったが、何とか会話ができ感激した。この感じ、何かに似ていると思ったらアマチュア無線とそっくり!



(田中康伸)

最近、私の会社ではインターネットカフェに行くのがはやっているようです。社内LANの掲示板には、「インターネット体験

記」として数々の感想が寄せられています。私もインターネットカフェに行ったことがあります。なぜかブックマークのリストにはPLAYBOYなどのH系ばかりが登録されていました。



(Masaharu Matsumoto)

うちの会社には「Internet研究会」なるものがあり、なんと月500円でダイヤルアップIP接続ができてしまう。しかも、28.8kbpsで、これにテレホーダイをプラスすると23時から翌朝8時までは(ちょっと遅めの)専用線でつながってるようなもの。一応1日1時間までって決まりはあるものの、1時間もつないでいけば十分ネットサーフィンできるのでこんな幸せな話はありません。いままでは情報を受け取るばかりだったけど、そろそろホームページでも作

ってみよっかななんて考えてます。

(中澤朋孝)



以前、あるゲームで慰安婦というコマンドがあって、韓国の人々の感情を逆なですると大騒ぎとなりました。インターネット上でも、人を不快にさせたりするようにならないということは、最低限守らなければならぬことですね。ところで、私の大学のテンポラリーディスクに、電ケ関ソフトというフリーソフトが入っていました。こういうものを作る人の良識が疑われます。

(立川崇之)

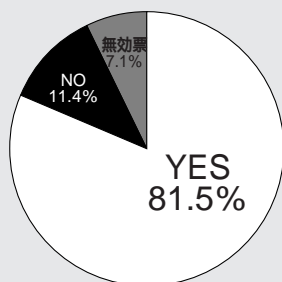


# Thinking!

## インターネットマガジン世論調査

テーマ  
宗教法人は改正すべきだと思いますか? <結果報告>

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>



インターネットマガジンでは、さまざまな社会問題について、より多くの個人の意見を聞いてみたいという趣旨のもと、WWWサーバー上で世論調査を実施中。政治・教育・風俗など、その都度ホットなテーマを設定して、皆さんのアクセスを待っています。お答えいただいた方全員に20iPを進呈します。

次のテーマ 夫婦別姓に賛成ですか?

We Love Internet Peopleの宛先電子メールアドレスは

[ip-box@impress.co.jp](mailto:ip-box@impress.co.jp)

WWW情報、インターネットに関する意見、面白い企画、何でもいいので送ってください。

インターネットポイント(P268)発行中。

## フリーな立場でアキバの情報を流したい

「秋葉原マップ」の運営者・石橋文建さん



☞ 小さい頃からアキバ少年だったんですか?

そんなことはありません。秋葉原が家電の町だった頃は興味がなかった。大きな店が大きな顔をして同じようなものを売っているように見えて、どちらかという好きじゃなかったんですよ。足繁く通い出したのは3年ぐらい前のDOS/Vパソコンブームのときからです。今でこそたくさんの店が同じようにDOS/V製品を置いていますが、その頃はまだ小さな店を探さなくてはいけなかった。たとえば石丸電気なんて誰でも知ってるけど、雑居ビルの1フロアにある店の情報なんてどこにもない。そんなお店のデータベースを作ろうと思ったのがきっかけです。地方から出張してきたような、たまにしか秋葉に行かないような人も使えるように考えています。

☞ 地図はどんなふうにしたのですか?

お店のデータはチラシにもものっているので集めやすかったけど、絵は秋葉原を歩きながらフリーハンドでメモしていきました。地図ももたず、歩幅で距離を計る(笑)。家に帰ってそのメモをもとにドローソフト

で描きました。店の名前のフォントを合わせたかったんで、せまい所に長い名前の店があると、あ、入らないってお店を急に大きくしたりして。

☞ 制作期間はどのくらい?

土曜日1日取材して週末にブロック2つができる。全部で3か月ぐらいかかりました。あの頃母が亡くなってほかのことにやる気がおこらなかったので時間がありました。今、イチから作れと言われても、絶対にできないですね。

☞ 公開後は人気ソフトになりましたね。

ちょうど去年の終わり頃は疲れてました。フリーソフトとして秋葉原マップがパソコン雑誌に次々に紹介されるんだけど、それによって利用者からメールがくることはない。何かつまらないし、もうやめちゃうのかななんて考えてたときに、「DOS/Vパワーレポート」編集部の工藤さんに誘われてインプレスに遊びに行きました。そこで話をしているうちに、インプレスサーバーにWWW版を作ることになったんです。構造はハイパーテキストだし、お店のデー

秋葉原のお店の情報と地図が入った「秋葉原マップ」は、ウィンドウズ用のフリーソフトとして1993年末に公開された。WWW版はインプレスのサーバー上で月間40万件のアクセスを誇る人気ページだ。運営者は石橋文建さん26歳。サラリーマンのかたわら、企画、取材、制作を一人でこなす。週末はデジタルカメラを片手に秋葉原を駆け回っている。



タはフォーマットが同じなので、HTMLにするのは大変ではなかった。クリックブルマップだけちょっと時間がかかりました。そのときインターネットを知ったわけですが、通信コストがかかるからはじめは無理だと思いました。今は何とかやれてます。

☞ WWW版ではお買い得情報や製品ニュースを流す週刊「秋葉ホットライン」がありますね。休日はほとんど秋葉原?

毎週土曜日の午後1時から2時頃に秋葉原に行って夕方5時頃まで取材。道具はデジタルカメラQV10と小さなメモ帳だけ。秋葉に着いた時点ではネタはいつもゼロだから、午後4時頃になって何も変わったことがないと焦ります。結局家に帰って夜中の3時頃までかかることがあるけど、この半年1週もかかさず続けています。1週休むともう読者がこなくなるんじゃないかと不安になる。1回QV10が壊れたんでやった休める!と思ったんですが、結局行ってしまった。まあ、そもそも誰にたのまれたわけでもないから、勝手に「やらなきゃいけない」と言い聞かせて勝手に「あーつらい」と思っているだけなんだけど(笑)。「秋

葉ホットライン」はWWWだけではなく、ニフティ（FPCUG）とPC-VAN（秋葉NOW）にはテキストで流しています。

☑ 取材先のお店の人とは顔見知り？

とんでもない。お店の人と特別な関係になると一般客として扱われなくなるから本当のことがわからなくなるんです。だから雑誌には顔を出したくない。石橋という人が秋葉マップというものを作っていることを知っている人はいると思います。店頭のパソコンに秋葉マップがインストールされていることがありますから。

☑ 提供情報の特徴は？

たとえば家電系大型パソコン店の品物の話は載せない。雑誌で手に入る情報をわざわざ流す必要はないし、パソコン雑誌に対抗しようとは思ってないから。僕が歩いて知り得たほかで見られないような情報をのせるようにしています。最近はウィンドウズ95ブームでイベントやキャンペーン情報も多いです。僕はカルチャーはわからないし、技術にもこだわっていない。インターネット上でもふだんの生活と同じように「実用的な情報」を作ったり得たりすることが自然だと思っています。秋葉マップは誰も作ってくれなかったから僕が作ったんだけど、誰かこんなページを作ってくれるんなら僕自身はやらなくてもいいんです。何もしがらみがない分、変なことを書きたいときは書きたいですね。でも、お店の人の営業妨害になるようなことは書きません。

☑ 月間40万件とは人気の証ですね？

それは単純に「ヒット数」でしかないから。読者が見えないのはWWWも同じです。これは日本人特有のものなのかもしれません。WWWはパソコン通信以上に一方的な発信で終わってしまう。作ってるほうは何人が読んでいるのか知りたいから個人ページにカウンターをつけるのが流行する



取材は目立たないようにデジタルカメラとメモ帳だけ。

んじゃないかな。好きで始めたといっても読んでる人がいるから自分も面白くなるわけです。雑誌なんかは反応がハガキやメールで返ってくるからうらやましいです。

☑ ホットラインとは別に「fromショップ」というコーナーもありますね。

これはお店からのインフォメーション、つまり広告のコーナーです。広告は重要な情報源ですし、もっとパソコン店からの情報がインターネットにあったほうがいいと思って始めたんです。でも、僕が一人でやっているせいかもしれないけど、タダでいいと言ってるのにショップの反応はよくないですね。

☑ いつまで続けられますか？

秋葉には何があるかわからないと感じられる間は続けられます。PC/ATブームのときに家電の町からパソコンの町に劇的に変化した。今も先週オーディオ店だったところが今週くとパソコン店になっている状況です。店は大きくなって似たり寄ったりになってるところも多いけど、DOS/Vブームが始まった頃はお店の載量がなかった。自分たちで見つけたものを輸入して、リスクはお客というアメリカ式。それがすごく面白かったですよ。そういう面白さは今のインターネットにも同じようにあります。

☑ 秋葉マップの今後の企画は？

インタビュー。アイスクリーム屋のおじさんとかサンドイッチマンとか秋葉らしい人たちの声を聞いて流したい。それからVRMLを使った仮想秋葉。歩いていると変な広告を貼り付けた車が通りすぎたりして、まさに秋葉原の何が飛び出すかわからない雰囲気再現できたらいい。ショッピングモールの構想？ うーん...誰か僕が気に入るものを作ってくれたら自分でやらなくていいんですけどね(笑)。



検索は地図上からと店の名前を指定する方法の2種類



「アキバで見つけた変なモノ」はマニアでなくとも面白い  
URL <http://www.impress.co.jp/akibamap/>

# Net Surfing!

## 読者が作るイエローページ



人類進化論のホームページ

### 懺悔の部屋

URL <http://anther.learning.cs.cmu.edu/priest.html>

法律に反するか否かはともかく、心の中で罪を犯したと感じたときに罪悪感を解消するには絶好の場所です。そこにはDigital Priestがいて、素直に罪を告白すればちゃんと贖罪をしてくれます。あらかじめ、「殺人」「不倫」「強欲」などのジャンルが設定されていて、その中から罪の種類を選んだ後に具体的な内容を書きこめます。"the Scroll of Sin"をクリックすれば、他人の告白を読むこともできます。これがまた爆笑もので、心の中でビル・ゲイツを殺してしまったとか、ガス・メーターを点検にきた娘と7発やってしまったとか、とにかく笑えます。心やさしいDigital Priestはすべての罪を許してくれ、ハードディスクをDefragmentしろとか、オランダのmpegをすべてダウンロードしろとかの贖罪の方法を指示してくれます。



(匿名希望)

### 「新英和・和英中辞典」

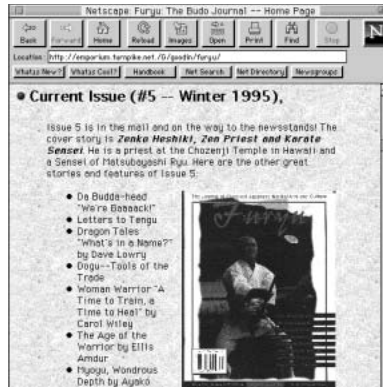
URL <http://www.aix.or.jp/cgi-bin/cgi-dic>

### 「リーダーズ英和辞典」

URL <http://www.aix.or.jp/cgi-bin/cgi-readers>

ブックマークに登録しておくとも必ず役に立つWebを2つご紹介します。これは、研究社から出版されている「新英和・和英中辞典」

WWWサーフィンはずぐに飽きるとよく言われるが、投稿を見ると、まだまだインターネットには知らない世界がいっぱいあると思う。インターネットに協会があることは知っていたが、教会があることは編集部も知らなかった。



Furyu

「リーダーズ英和辞典」という有名な辞書をオンラインで、まるで電子ブックをつかっているかのごとく検索ができるのです。例文などもそのまま表示されるので、普通の辞書とほとんど違いがありません。Webめぐりのおともに、そして海外との電子メールのやりとりと、さまざまな場面で利用できるに違いありません。

(Makoto Morikawa)



### 人類進化論のホームページ

URL <http://jinrui.zool.kyoto-u.ac.jp/>

わたしの所属する京都大学人類進化論研究室のホームページができました。「サルからヒトへ・人類はどんな道をたどって現在にたどりつき、これからどこにむかうのか」が、この研究室の大きなテーマです。一般の人にも興味をもって見ていただけるように、ビジュアル中心にまとめました。とくに、わたしの研究分野であるソロモン諸島のイルカ漁のページ (<http://jinrui.zool.kyoto-u.ac.jp/kirio/kirio.htm>) では、石の音とカヌーだけを使って行う、南の島の壮大なイルカ漁の様子を、写真とパタパタアニメーションをい使って表現しています。

(竹川大介)



### とくするページ

URL <http://www.gulf.or.jp/yasuhiro/tokutoku.html>

自分で言うのもなんですが、ぜひ一度覗いてほしいのが私の作りました「とくとくページ」です。インターネットの上では数多くの懸賞、クイズ、プレゼントなどなど「ただで物がもらえる(かもしれない?)ページ」が公開されています。そのなかで実際にのそいで「これは面白い、得だ」と思ったものを紹介しています。さあ、幸運を手に入れよう!



(山本恭弘)

### 早稲田のサーチエンジン「千里眼」

URL <http://www.info.waseda.ac.jp/search.html>

Title/Anchor に対しての検索、サーバー名 に対しての検索というのはまあよくあるやつですが、ここはなんとリンク逆探知ができるのです。入力したURL がどこからリンクされているかを調べられるとは思わなかったので、これには驚かされました。



(小渡悟)

### Furyu: The Budo Journal

URL <http://emporium.turnpike.net/G/goodin/furyu/>

武道専門のページです、柔道や棒術、合気道など日本古来の武道の紹介などがされていますし、関連WWWへのリンクも充実しています。本来なら、日本からこのような情報が発信するべきなのでしょうが、せめて武道関係者の目に止まって、日本の武道のホームページが増えることを期待します。

(K.Kitamura)



発表!

## インプレスWWWナビゲーターで検索してみた95年の10大ニュース

【ヒット数ランキング】編集部が独断で選んだ1995年のニュースキーワードをインプレスWWWサーバーのWWWナビゲーターで検索してみた。全登録数は2738件、ヒット数順に紹介しよう。

### 1位 「震災」26件

阪神大震災直後、第2の連絡網として注目されたインターネット。現在は神戸市 (<http://www.kobe-cufs.ac.jp/kobe-city/>) の復興情報、ボランティアの広報など広がりを見せる。

### 2位 「核実験」17件

フランス核実験再開阻止運動のページが各国で開設。東大の学生によるインターネットでの署名運動 (<http://www.iijnet.or.jp/nuke/>) も話題に。しかし、仏政府は実験を再開。

### 3位 「沖縄」14件

米兵による少女暴行事件に端をはった沖縄基地問題。沖縄県のホームページでは、大田知事による政府への緊急要請文 (<http://www.okinawa.ttc.co.jp/rape2-j.html>) も読める。

### 4位 「Windows95」9件

パソコン界の話題をさらったマイクロソフトのWindows95。個人で集めた裏わざ情報のページから米国レポート (<http://www.toppan.co.jp/frontline/>) まで。

### 5位 「野茂」7件

あちこちの通信販売サイトで野茂グッズが売られている。尼崎市のファンが作るトルネードボーイ ([http://www.st.rim.or.jp/k\\_ono/tornado/](http://www.st.rim.or.jp/k_ono/tornado/)) も必見。

### 6位 「戦後」7件

戦後50年という節目の年、長崎市や広島市をはじめ平和を訴えるページの開設が続いた。長崎市では原爆資料やイベント情報 (<http://www.cc.nagasaki-u-ac.jp/PeopleWave95/>) を掲載。

### 7位 「就職活動」6件

就職氷河期の95年だが「就職難」で検索したらゼロ件だった。大阪の縁/EN/一Employment Netは新卒採用情報だけではない求人・求職専門サーバー (<http://www.nbc.co.jp/>) だそう。

### 8位 「オウム」3件

意外に少なかったが、アンダーグラウンドではいろいろあるオウム情報。山梨日日新聞社と山梨放送は事件年表や記録写真を提供 (<http://www.sanichi-ybs.co.jp/>) 。

### 9位 「オリックス」1件

日本一の「ヤクルト」で検索したがゼロ。「イチロー」で検索してもゼロ。この1件はオリックスブルーウェーブのオフィシャルページ (<http://www.tisnet.or.jp/orix/src/>) 。

### 10位 「木村拓哉」0件 (担当編集者特別推薦)

20代後半から50代までの女性に熱く支持されるキムタクも、インターネットには興味の外ののだろうか。作った人はWWWナビゲーターにぜひ登録を!

登録するなら

<http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/wwwnavi/regist.htm>

検索するなら

<http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/wwwnavi/index.htm>

#### LOVE.CO.JP

京都の広告代理店・太洋堂。インパクトをねらったそうだ。

#### GENJI.CO.JP

源氏物語などの古典の研究所らしい。

#### TAKAUJI.OR.JP

プロバイダー「両毛インターネット」は足利の里にちなんで。

#### MANDALA.OR.JP

「有限会社であいネット」というプロバイダー。運営者はご住職。

#### BEKKOAME.OR.JP

ベッコアメは変なドメインの元祖。

#### BUTAMAN.OR.JP

ブタマン・インターネットサービス。仕事では使いたくないなあ。

#### AYASHII.OR.JP

「あやしいネットワーク」という名のBBSらしい。

#### MATATABI.OR.JP

UNIX関連のインターネット入門書も出している「グループまたたび」

#### MELODY.OR.JP

「メロディを語るタベ」もホームページ開設

#### OSARU.OR.JP

おさるネットという名のBBS

#### RYUSEI.OR.JP

「流星少女ネット」という名のBBS

#### SIKASENBEY.OR.JP

しかせんべいインターネットはもちろん奈良

#### DONBURI-ISLAND.KITA

東京北区の地域ドメインにあったどんぶり島。詳細はなぞ。

最後に一番長いドメイン名を紹介しよう。

visual-product-team-task.yachiyo.chiba.jp 千葉県八千代市の地域ドメイン。

#### 変なドメイン<海外編>も募集中

あなたがインターネットで見つけた面白いシグネチャー、ボエム、暗号メッセージ、名言、アスキーアート、変なドメイン、何でもいいから送ってほしい。自薦・他薦どちらも歓迎! 掲載分には1000iP送るぞ。

### 秘宝発見! 一度聞いたら忘れない ドメインネーム

インターネットに接続する企業や個人は日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)から世界で1つのドメインネームを登録してもらう。

このインターネット上の看板も、好きなものを申請できるから変なものいっぱい。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)